

ベテル三番町 クリニックだより

2024年春号

『三番町物語 2』

ベテル三番町クリニックの建物の左側には、職員専用の通路があります。この通路には、御影石の敷石が40枚余り非常階段の下まで敷いてあります。松山にある御影石は、松山城の石垣を始め殆どが瀬戸内海の島から切り出されたものです。昔の三番町の地図を見ると、クリニックがある場所には『明治楼』という料亭がありました。この料亭の玄関や土間に敷いてあった敷石が今通路に残っているわけです。城下町松山は、城山の麓から南側に一番町、二番町、三番町と道路が造られ、武家屋敷が建てられていました。広い庭の武家屋敷の何軒かが明治時代に料亭として残されました。

江戸時代に三津浜の港から津田町を経由し、三番町の南側に運河が造られ、沢山の船（千舟町）が行き来していました。荷物や海産物が下ろされる港が繋がり、お店が並んでいたのが『港町』と呼ばれ現在の湊町商店街になった訳です。

明治28年（1895年）夏目漱石が松山に赴任した頃は、松山中学校（現：松山東高等学校）は現在の堀之内東側と二番町の角にあり、夏目漱石はベテル三番町クリニックの北、200メートルにある『愚陀仏庵』に一年間、居を構えました。そして愚陀仏庵には、正岡子規が半年ほど同居しました。小説『坊ちゃん』に記載されている新年会、そしておそらく忘年会も料亭『明治楼』で開かれていたのではないのでしょうか。だとするとクリニックの御影石の敷石は、明治28年に夏目漱石や赤シャツが踏んでいた敷石だ、ということになります。

医療法人聖愛会 名誉理事長 森 洋二





お誕生日おめでとうございます！





デイでの活動紹介



絵手紙を始めました！素敵な作品が仕上がっています。切手を貼ってぜひ投函してくださいね。



年末にはクリスマスツリーやポチ袋の制作、忘年会、

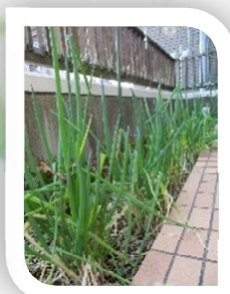
お正月には福笑い、書初めなどの年末年始の行事を皆さんと楽しみました。



ベテル農園だより



フロッキーやレタスが育っています。パンジーも咲きました。
エンドウもぐんぐん伸びています。少しずつ収穫しています。



春のお花も咲いています



フロッキーとレタスの収穫をしました



写真の掲載はご本人の許可を得て掲載しています



職員紹介

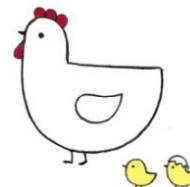
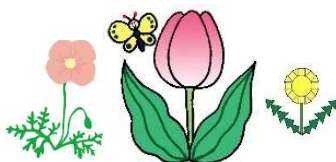
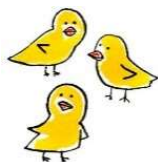


名前:森本 裕美
所属:訪問看護ステーション
好きなこと:福山雅治

2月に松山ベテル病院2階7
ロアから異動になりました。
まだまだわからない事だらけ
ですが、頑張りたいと思いま
す。
よろしくお願いたします。

名前:久保 由紀子
所属:クリニックデイケア
好きなこと:読書

1月から松山ベテル病院の方
より異動してきました。
病棟との違いに毎日四苦八苦
していますが、早く慣れるよう
頑張りたいと思います。



医療法人 聖愛会

ベテル三番町クリニック&デイケアセンター

〒790-0003

松山市三番町3丁目4番地12

クリニック TEL 089-941-1610

FAX 089-945-8607

デイケア TEL 089-935-7745

FAX 089-935-7749

